

サードパーティー・ルール



今週末からは、土日を含めて5連休になります。いわゆる「シルバーウィーク」です。21日は「敬老の日」、23日は「秋分の日」、祝日には含まれた22日は「国民の休日」です。楽しい5連休の前の1週間、有意義に過ごしましょう。

今日は「サードパーティー・ルール」という、国際社会のインテリジェンス（情報）活動に関する約束ごとについての話をしました。世界中の国々は、お互いに集めた情報を交換し、分析や、活用をしています。このルールは、協力関係にある外国の情報機関等から提供された情報を、提供元の承諾なく第三者に提供してはならないという国際的な取り決めです。

もう少しわかりやすく言うと、仲よくしているA国からもらった情報を、「ほかの国にこの情報を伝えてもいいですか」ともたずねず、許可ももらわずにほかの国に伝えてはいけない、というルールです。要するに、ある人から聞いた話を、本人の了解を得ずに第三者に漏らしてはいけない、ということです。自分を信頼して与えてくれた情報を守ることで、お互いの信頼関係を強くすることができます。

あたりまえのことだと思われるかもしれませんが、これを私たちの日常生活に置きかえて考えてみましょう。人間関係のトラブルの原因になることが多いですね。友だちが言っていた悪口を、ついついほかの人に伝えてしまう、SNSに書き込んでしまう。多くの人が、経験しているかもしれません。

私たちの友だちどうしの関係にも、「サードパーティー・ルール」は必要ですね。もし友だちの悪口を聞かされ、それをどうしてもほかの人に言いたくなっても、安易に伝えてはいけません。どうしても伝える必要があるのであれば、「ほかの人に伝えてもいいかな」「LINEでみんなに教えてもいいかな」と確認しなければなりません。おそらく「いいよ」という人は、ほとんどいないと思いますが。

聞いた情報を右から左に安易に流さない。それは自分の言動が周囲にどう影響を及ぼすかを考え、自らの言葉に責任をもつことでもあります。これは、悪口だけではなく、いい話題であっても同じです。これができる人は、友だちから信頼されるようになるのです。人から託された言葉を大切に扱い、自分の言葉に責任をもつことができるみなさんであってほしいと思います。